

東急車輛製造株式会社 殿

構造等の概要

改造概要等説明書 (改造自動車等審査結果通知書)

指示事項

主要諸元比較表

項目	標準車	改造車	基準	項目	標準車	改造車	基準
車名	東急	東急		乗車定員	人	人	
型式	TF36G5C3S	TF36G5C3S		最大積載量	kg	28100	
型別	普通	普通		前軸重	kg	11110	≤ 10t
用途	貨物	貨物		後軸重	kg	8295	≤ 10t
車体の形状	セミトレー	セミトレー		総重	kg	8290	≤ 10t
燃料の種類	-	-		前後軸重計	kg	8295	≤ 10t
原動機型式	-	-		最大安定傾斜角度	°	* 47	一般 ≥ 35° その他 ≥ 30°
総排気量	-	-		前軸			
長さ	10.930 (10.390)	≤ 12m		後軸			
幅	2.490	≤ 2.5m		前軸			
高さ	2.260	≤ 3.8m		後軸			
軸距	6.250+1.300			タイヤサイズ		11R22.5 -14PR	
前輪	-			後軸		11R22.5 -14PR	
後前輪	1.850			積載時前軸荷重割合	%	83.0	≤ 100%
後中輪	1.850			後軸		83.0	≤ 100%
後後輪	1.850			積載時前輪荷重割合	%	83.0	≤ 100%
室内又は長さm	10.500			リヤ・オーバーハング	m	1.480	≤ 1/2
荷台の内幅	2.350			荷台オフセット	m	2.510	
側寸法	0.210			最小回転半径	m	* 9.4	≤ 12
高さ	1770						
前輪	2040						
後前輪	2040						
後中輪	2040						
後後輪	2040						
重量	7890						

能力強度等検討

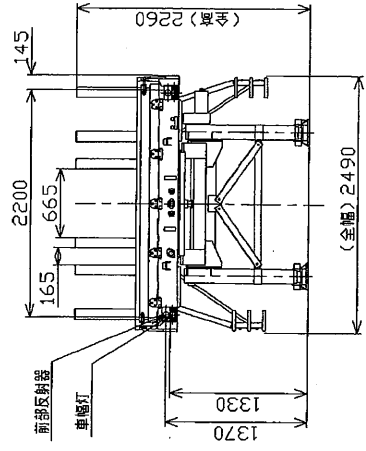
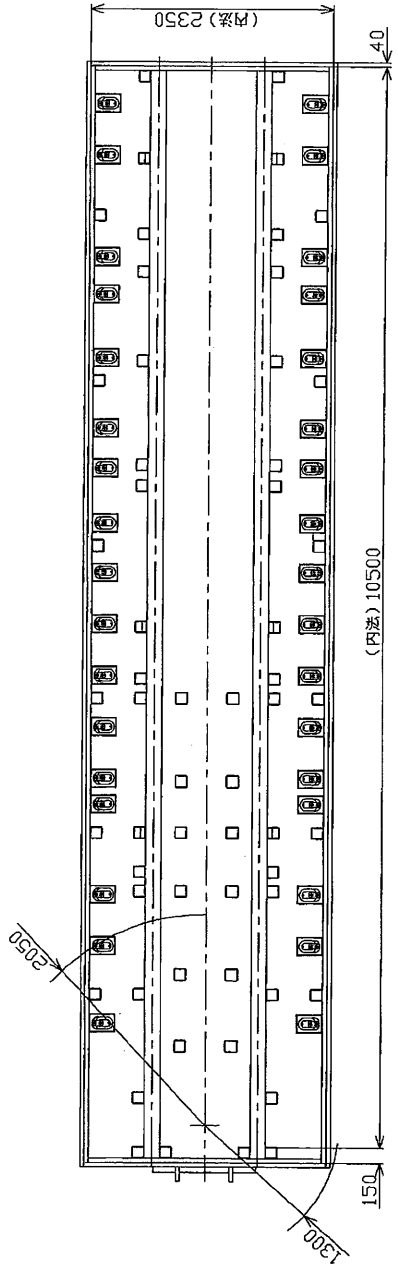
制動力	踏空気圧 637kpa	車軸強度	σ <sub>b</sub> /σ = 49.97 / 8.375 × 2.5 = 2.39 > 1.6
推進軸回転数	-	車軸強度	東急TF50H4C3型セミトレーと同一
強度	-	緩衝装置強度	-
	-	緩衝装置強度	東急TF50H4C3型セミトレーと同一
	-	制動装置強度	東急TF50H4C3型セミトレーと同一
	-	連結装置強度	東急TF50H4C3型セミトレーと同一

注1. 能力強度検討欄は、該当しないものは、省略したものを×を記入すること。  
注2. \*印は、いすゞ KL-EX05D3型トラックと連結時の計算値を示す。  
注3. (試作車・組立車) の欄には、該当するものを○で囲むこと。

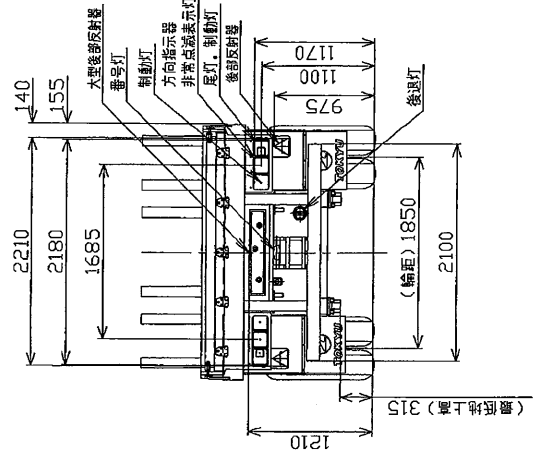
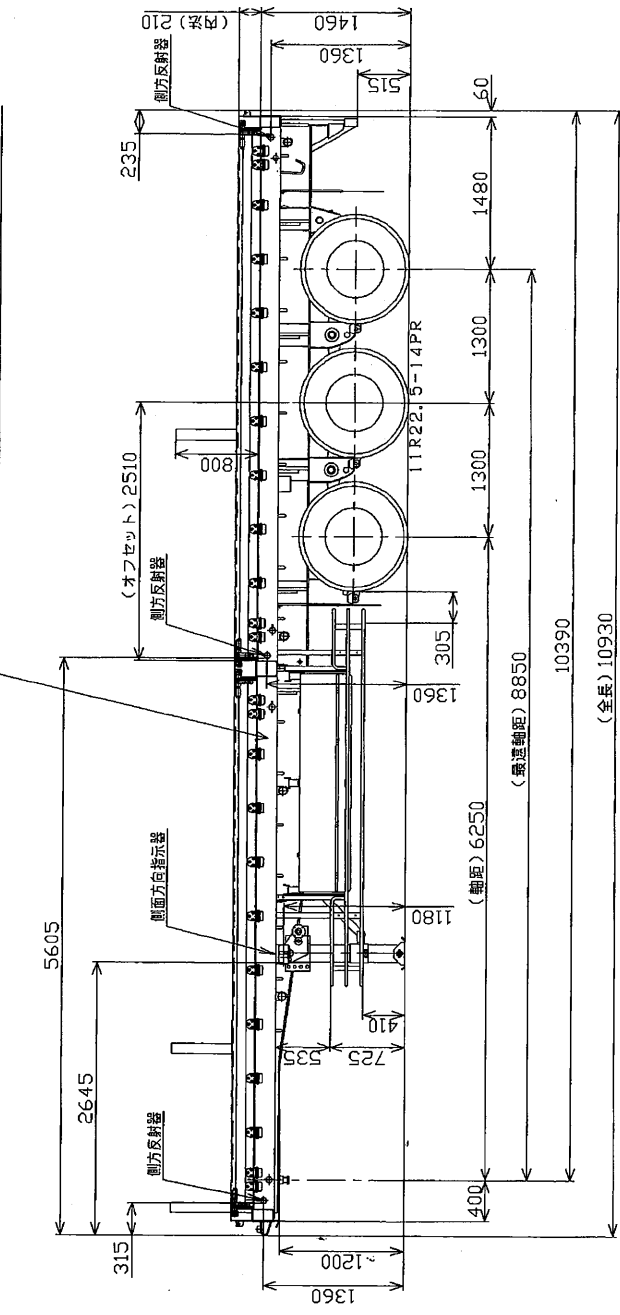
BA012784

目的	分割可能な貨物の安全輸送をはかるため、(脱着式スタンション型) セミトレーラとして新たに製作されるものである。
車種及び車体	全体の構造は梯子型で、主レールとアウトリガー及びクロスマメンバーとは電気溶接で組まれており、前部下面にキングピンを、後部に車軸装置を取り付けている。 突入防止装置は既出済みのみをQAを取り付ける。
原動機	
動力伝達装置	
走行装置	東急TF50H4C3型セミトレーラと同一。(12目番 第104号 新型自動車第16884号) 車軸は高張力鋼で、中空角型断面チューブの両端にスピンドルを溶接した構造を有する。
操縦装置	
制動装置	東急TF50H4C3型セミトレーラと同一。(12目番 第104号 新型自動車第16884号) (主ブレーキ) 気圧内部拡張式 (駐車ブレーキ) スプリング式 A B S 装置一式
緩衝装置	東急TF50H4C3型セミトレーラと同一。(12目番 第104号 新型自動車第16884号) イコライザー付きトリプルスプリングサスペンションの半だ円板ばね型である。但し、ばねは東急TF28H8C21型セミトレーラと同一。(11目番 第1687号 新型自動車第17005号)
連結装置	東急TF50H4C3型セミトレーラと同一。(12目番 第104号 新型自動車第16884号) 第5輪方式 JIS-D-6602に準じて製作してある。
燃料装置	

注 該当する事項が無い場合は、斜線で記入すること。



表示「側面スタンプシヨンを4本装着(分割可能な貨物の輸送時)」



東急TF36G5C3S型セミトラ外観四面図